

まつやま地区紹介MAP 4

日浦

ひうら

今治市との境にある、松山市で最大面積を占める緑豊かな地区



エリア基本データ (平成27年1月1日推計)

面積 40.65km² 人口: 356人 10年前との比較 人口:82.2% 世帯: 153世帯 世帯:91.6%

- アイコン凡例
- 市役所・支所・出張所
 - 警察署・交番・駐在所
 - 消防署
 - 医療機関
 - 金融機関
 - 郵便局
 - 主要官公庁
 - 高齢者施設
 - 神社
 - 寺院
 - シヨップ
 - 遊ぶ・施設
 - チエツク
 - 公園・自然
 - 学校
 - 子育て



2月に行う「日浦小学校の森事業」では桜の植樹をする

Pick up

ひうらしょうがっこう・ひうらちゅうがっこう
日浦小学校・日浦中学校

日浦小学校と日浦中学校では、小中連携を取り入れたきめ細かな指導を実施。緑の少年隊、緑の少年団としての森林保全活動は全国屈指。飼育栽培など体験学習を通じ、自ら考え、豊かな心と丈夫な身体を持つ子どもに育てる。

たなだ棚田



石手川沿いに続く棚田
棚田は狭い土地を有効に使う昔の人の知恵。日浦では、丸みを帯びた河原の石を丁寧に積み上げた棚田の風景が見られる。

かわせがき川施餓鬼

髯に敗れた武将の魂を慰めるため始まったと伝わる

高さ10mの大織を担ぐ勇壮な祭りや、太鼓の演奏や魚のつかみ取り、PTAのバザーや特産市でにぎわう。

ひがんばん彼岸花

東川町では珍しい白い彼岸花も咲く

日浦は彼岸花の名所。毎年開催される写真コンテストでは入賞者に日浦の新米10kgが贈られる。



Q どんな地区ですか？

松山市の北東部、石手川ダムのさらに上流にあり、緑豊かな山林に囲まれた日浦地区は、松山市の水源地域に指定されており、昔から農林業がさかんに行われてきました。日浦の清涼な水で栽培された野菜や米の味は格別です。水源の森を守るため、住民たちは地域一丸となって山林を手入れし、川の水を清涼に保つ努力を続けています。豊かな自然と地域の伝統行事を後世に残していこうとしています。



Q 生活環境はどうですか？

松山と今治を結ぶ国道317号が地区を貫き、車を使えば市内中心部まで約20分で行くことができます。自然の中で子どもたちを育てるには大変良い環境です。小学校と中学校が道を隔てて隣合う利点を生かし、小中連携というユニークな教育を提供しています。地区には、山間部ならではの川魚やイノシシ料理などを提供する食事処やカフェレストランもあります。

Q 公共交通機関でのアクセスは？

生活の足として便利なのは、松山市と今治市を結ぶ、せとうちバスの特急便です。市内中心部の松山市駅まで1日11往復あり、日浦地区内に4カ所の停留所があります。所要時間は30～40分ほどです。また、伊予鉄道の路線バス河中線が午前と午後1便ずつ運行し、日浦学校前バス停から松山市駅まで所要時間は約40分。ただし、日・祝日は運休となります。



さんぼんすぎ 三本杉

福見川町新宮神社境内にある、樹高55mと50mの2本の杉。当初3本であったものが、長い年月のうちに接近する2本が1株になったと思われる(地上1.4m地点で2本に分離)。松山市で最も早く天然記念物に指定された樹木の一つ。

威厳のある姿の三本杉

このマップは、各地区の公民館のみなさんにご協力いただき作成しました。掲載している内容は、平成28年3月1日時点のものです(一部例外あり)。医療機関・高齢者施設・子育て関連施設など、一部記載を省略しているものもありますので、詳しくはお問い合わせください。